

# 平成30年度実績に係る部局評価書

部局名: 連合小児発達学研究所

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
<b>S</b>	<b>A</b>	<b>S</b>

## 【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		COI streamで開発中の双方向性型睡眠教育アプリについて、東大阪市における乳幼児の養育者を対象にトライアルを行い、中間解析にて睡眠習慣が改善することが確認でき、社会実装されていること。また、同アプリのAI化のために、NICTの外部委託研究費(年間1,0000万円)を新たに獲得したことが評価できる。
【社会貢献】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		戦略性が高く意欲的な計画として複数の自治体との積極的な共同事業を展開し、子供と養育者への支援をはじめ、いくつもの取組を着実に進め、成果を上げることが評価できる。
【グローバル化】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。

## 【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>          常勤教員一人当たりの科学研究費補助金の獲得件数について、インセンティブを高めるため業績評価システムを導入するなど、獲得に向けた取組が評価できる。          常勤教員に占める女性教員の割合について、積極的な採用に努めることで実績を伸ばしていること、かつ大学実績に大きく寄与していることが評価できる。</p>
--